

臨時レポート

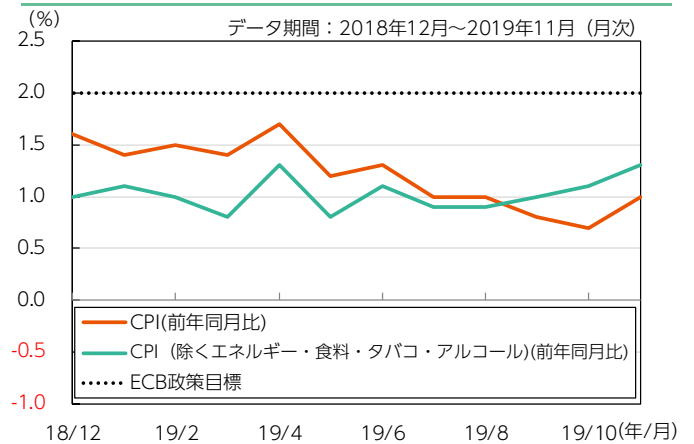
# ラガルド新ECB総裁 初会合で現状維持

## 予想どおりの会合結果に市場の反応は限定的

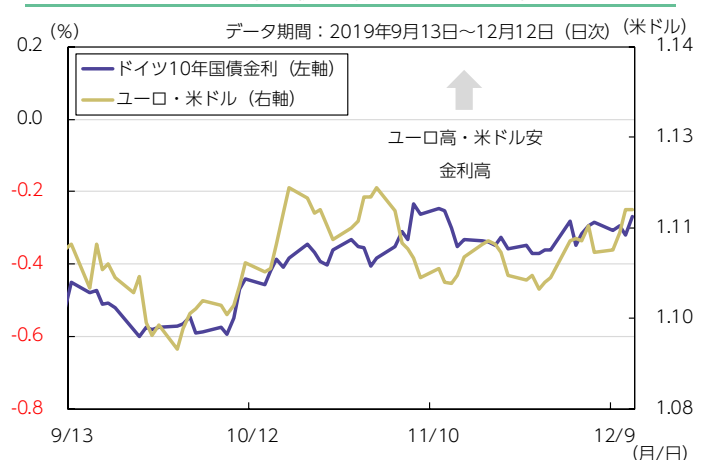
- ▶ 欧州中央銀行(ECB)は予想どおり政策金利の据え置きを決定。
- ▶ 市場参加者からは、本日の記者会見ではラガルド新総裁の金融政策へのスタンスが読み取りにくいとの声も。ラガルド新体制による今後の金融政策に注目が集まる。

- ECBは12月12日の定例理事会で、主要政策金利を0.00%、預金ファシリティ金利(3つある政策金利の1つで金融機関がECBに預け入れる準備額の金利)を-0.5%の現状維持としました。フォワードガイダンス(将来の金融政策を約束する手法)の文言についても変更はありませんでした。就任後初めての会合となったラガルド総裁は記者会見で「物価の方向性が上昇傾向にあるものの、(政策目標を下回っている)現状の物価は十分な水準ではない。」と発言しました。公表された12月時点の経済見通しでは、2020年の実質GDP(域内総生産)成長率見通しが対前年比+1.1%と前回見通し(9月)から0.1ポイント下方修正され、2021年は同+1.4%と前回から変更ありませんでした。消費者物価(CPI)の見通しは2020年は対前年比+1.1%(前回は+1.0%)と引き上げられ、2021年は同+1.4%(前回は+1.5%)と引き下げられました。
- 11月29日に欧州連合統計局(ユーロスタット)から発表されたユーロ圏の消費者物価指数(CPI)<11月速報値：前年同月比>は+1.0%、ECBが重視するエネルギー・食料・タバコ・アルコールを除く指数<同>も+1.3%と両指数とも10月から上昇しましたが、政策目標を下回る状態が続いています(図表1)。
- 同日にユーロスタットから発表されたユーロ圏の失業率(季節調整済み：10月)は7.5%となり9月から0.1ポイント改善しました。2008年以来の低水準で推移しており雇用環境は良好です。
- 予想どおりの会合結果に12日のドイツ債券市場や為替の反応は限定的となりました(図表2)。市場は米中貿易協議の動向に一喜一憂する展開が続いていますが、欧州は英国のEU(欧州連合)離脱問題や景気刺激策として期待される各国の財政出動の有無など政治的課題を抱えています。

図表1：ユーロ圏消費者物価指数(CPI)



図表2：ドイツ10年国債金利とユーロ・米ドル



出所) 図表1～2はブルームバーグデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

市場参加者からは、総裁の本日の発言からは今後の金融政策へのスタンスが読み取りにくいとの発言も聞かれました。11月22日の講演でラガルド総裁は、欧州の景気回復には内需の拡大が重要であり、そのためには金融政策と財政政策の組み合わせが大切として、公共投資などの財政出動の必要性を唱えました。今後の金融政策の方向性を測る上で、上記の講演での発言が参考になるものと思われる。ラガルド新体制による今後の金融政策が注目されます。

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>